

(公財) 多摩市文化振興財団 平成28年度事業の概要

1. 文化芸術振興事業

(1) 音楽事業

①読響パルテノン名曲シリーズ(年4回)



日本の三大オーケストラのひとつ読売日本交響楽団による定期公演を実施。

②パルテノン多摩&読響ハートウォーミングコンサート

障がい者、その家族とボランティアを招待する読響コンサートを実施。

③読響メンバーによる室内楽のしらべ(年3~4回)

読響メンバーが自主参加して、ランチタイムに気軽に楽しむコンサートを実施。

④ニューイヤーコンサート 新年を祝うコンサート。

⑤鈴木秀美 KLASSIK の世界Ⅳ オリジナル楽器によるオーケストラの演奏会。

⑥ミュージックサロン・シリーズ(年6回) 国内外の一流演奏家による室内楽公演。

⑦ポピュラー公演(提携。年8回程度)

グローリーゴスペルシンガーズ、稲垣潤一、倍賞千恵子、秋川雅史 等

(2) 演劇事業

①小池博史演出「風の又三郎」

宮沢賢治生誕120年にあたる今年に、仙台・長野・茅野各市の公共館と連携して、海外でも高い評価を得ている小池博史氏の演出で公演を実施。関連ワークショップ実施。



②演劇人の文化祭 演劇人が持つ他の芸術的才能を展示、実演。全国初の試み。

③白石加代子百物語アンコール 人気のシリーズをアンコールに添えて上演。

④落語会シリーズ(年3回) 従来から実施してきた落語会をシリーズ化して、落語の魅力をアップ。

⑤落語まつり～親子ぱるてのん落語会 夏休み子ども向け企画として実施する落語会。

⑥劇団四季「こころの劇場」

劇団四季と共催して「こころの劇場」を開催し、市内及び近隣市の小学6年生を招待。

⑦提携演劇事業

劇団四季「ウェストサイド物語」、週末よしもと、ザ・ニューズペーパー、ほおずき寄席 等

(3) 映画事業

①定期上映（年6回）

ロードショー館では上映機会が少ない良質な作品を厳選して上映。また、新たな来場者層発掘を目的に爆音上映会を実施。

②提携映画事業 アースビジョン（環境映画祭）

2. 郷土文化等公開普及事業

(1) 郷土文化公開普及事業

①歴史ミュージアム常設展示 多摩ニュータウンの歴史を中心に、地域の歴史を展示。

②特別展（年2回） 多摩の谷戸と農のいとなみ、多摩の災害史（仮称）

③市民協働プログラム

市民ボランティア4団体との協働により、日々活動し、その成果を展示に反映。古文書解読ボランティア、植物標本整理ボランティア、多摩くらしの調査団、定点撮影プロジェクト。

(2) 自動演奏楽器普及事業

①常設展示及びミニコンサート 定期的に実演を公開。また季節に合わせたプログラムも実施。

②野外実演 市内各所のイベントに出張し、ストリートオルガンを演奏。

3. PACプログラム（Parthenon Arts & Culture Program）



（公財）多摩市文化振興財団

平成28年度から、文化芸術の普及啓発活動の一層の充実を図るために実施。
従来からの講座・アウトリーチ・ワークショップなどに新たな事業を追加。

(1) 音楽事業

①音楽演奏家派遣事業

コミュニティセンターが開催する演奏会に若手演奏家を派遣。今年度から市内福祉施設へ読響メンバーを派遣。

②オーケストラで活躍する楽器のレクチャー講座

主に子どもを対象に夏休みにオーケストラ楽器の魅力を解説、体験する講座。

③音楽案内講座

音楽ジャーナリストや著名な演奏家がクラシック音楽の歴史や魅力などを解説し、理解と興味を深める講座。

④主催公演プレセミナー

読響シリーズ、ミュージックサロン・シリーズなどの聴き所、魅力を解説する講座。

(2) 演劇事業

①ぼこぼこフェスタ 毎年実施している子ども対象の総合芸術体験型事業。

②小池博史演劇創作プログラム～KENJIへの旅～
「風の又三郎」上演に先立って実施する演劇ワークショップ。成果をステージで発表。

③国立能楽堂ワークショップ
国立能楽堂と連携して、能楽師による和楽器のワークショップとステージでの成果発表。

④現代演劇講座

演劇ジャーナリスト徳永京子氏がコーディネイトとして、最新演劇事業をゲストとトークする講座。



(3) 美術事業

①ブリヂストン美術館アート講座

ブリヂストン美術館学芸員が、同館所蔵作品を中心に美術作品の鑑賞法や魅力を解説。夏休みに子ども向け、12月に大人向けに開催。

(4) 博物館関係の講座・アウトリーチ等

①地域文化講座

②民俗学講座

③古文書講座初級・中級

④みんなの植物観察会

⑤植物観察会ステップアップコース

⑥谷戸の観察会

⑦市内小中学校等への学芸員アウトリーチ授業

⑧博物館実習

(5) キッズファクトリー

①常設展示

子どもが様々な体験・創作を行う機会を提供。また、季節に応じたテーマ展示。

②名人発見！工房

講師を招聘して特別ワークショップを年間通じて開催。又、日本の伝統作法（着付け、礼儀作法）を学ぶ講座を新設。

4. 都市活性化、文化芸術支援、市民活動支援事業

(1) 都市活性化事業

①多摩センター地区イベント協力

多摩センターこどもまつり、夏まつりなど5事業に協力。
多摩センターイルミネーションに合わせて大階段を電飾。

②パルTAMA フェス2016in 多摩センター～音楽と演劇を楽しむ2日間～

旧「多摩1キロフェス」を引き継ぎ、多摩センター地区活性化を目的に、音楽と演劇を楽しむ野外事業。

③ライブハウス事業（年3回）



(2) 文化芸術支援・市民活動支援事業



- ① プラスフェスタ
- ② 三多摩童謡ファミリーコンサート
- ③ 多摩市合唱祭
- ④ 多摩シネマフォーラム
- ⑤ 多摩シティバレエコンクール
- ⑥ 多摩ユースオーケストラ
- ⑦ 東日本大震災復興支援コンサート
- ⑧ 多摩管弦楽団定期演奏会
- ⑨ 民話を訪ねて…多摩の里
- ⑩ 多摩市民第九演奏会
- ⑪ 日本クラリネットコンクール
- ⑫ サクソフーンフェスティバル
- ⑬ J&O 声の学校 等

5. その他

① 親子ペアチケット制度

次世代への文化芸術の継承を目的に、親子や祖父母と孫が一緒に来場しやすいチケット制度として新たに導入。読響、ミュージックサロン、落語の各シリーズが対象。

② ひとり親世帯招待

今年度から市内のひとり親世帯を読響シリーズに招待。

③ 近隣大学との連携

大妻女子大学のCDP (Carrier Development Program) 授業、中央大学黒田ゼミとのバル TAMA フェスでの連携協力。